

中央ろうきん 友の会ニュース

2016年度東日本大震災義援金贈呈
広域避難者支援交流の集い 報告 他

【編集】中央ろうきん友の会事務局

【発行人】鈴木政雄

【発行】2017年5月8日 No.7

6年間で12,043,228円の善意を結集！！

義援金として、被災者の方々に贈ってきました！

中央ろうきん友の会は東日本大震災が発生した2011年より義援金募集の取り組みを行い、この6年間で会員の皆様から寄せられた善意と本部拠出金の合計額は、12,043,228円にのびりました。この間のご協力に對しまして心より厚くお礼申し上げます。

東日本大震災に係わる義援金募集の取り組みは2016年12月末を以て終了することにいたしました。東日本大震災被災地に對する支援活動は「被災地支援商品」の販売協力という形で今年度も継続していくことが、昨年10月に開催した第8回総会で確認されており、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

東日本大震災に係わる 最後の義援金贈呈先は 広域避難当事者団体！

2016年度の義援金は、2015年度からの継続支援となる福島県・宮城県・岩手県からの広域避難者が中心となって「交流の場づくりなどの活動」を行っている避難当事者団体（22団体）に義援金計154万円を贈呈いたしました。

贈呈先の選定は昨年同様8都県で避難当事者団体を支援している「東京災害ボランティアネットワーク」（以下「東災ボ」という）、「埼玉労福協」などの中間支



友の会を代表して挨拶をする鈴木会長

援団体や中央労金社会貢献基金のご協力をいただきました。

義援金贈呈式は「広域避難者支援交流の集い」と合わせて、2017年3月29日（水）、中央労働金庫湯島ビル7階会議室において、中央ろうきん友の会本部役員11名、対象22団体のうち、21団体から25名、中間支援団体から東災ボ福田事務局長、中央労働金庫から3名の総勢40名が出席しました。

はじめに、友の会鈴木政雄会長が挨拶し、「中央ろうきん友の会は1都7県に会員がおり、昨年も多くの善意が寄せられました。義援金は故郷を離れて生活されている皆さんが明るく元気に過ごしていただく活動に使ってください」と話した。その後の義援金贈呈式では鈴木



「支援交流の集い」に参加した皆さんの集合写真



「みちのくまほろば会」へ目録の贈呈



進行役の東災ボ福田事務局長

政雄会長より避難当事者団体を代表して、「みちのくまほろば会・代表後藤恭子氏」に目録の贈呈が行われました。

その後、参加者全員からの挨拶を受けて、東災ボ福田事務局長の司会で意見交換会が行われ多くの意見が出されました。

閉会にあたり、野田副会長より、「皆さんは大変なご苦労があると思いますが、友の会としては皆さんを少しでも支えていきたいと考えている」との挨拶を行い、和やかな雰囲気ですべての「支援交流の集い」を終了しました。

(主な意見)

避難指示解除について

■浪江町・飯館村（3月31日）、富岡町（4月1日）の避難指示解除が迫ってきた。富岡町からの避難者の50%が戻らないと言っている。

■避難指示解除に伴い、福島県内の家の解体を進めている人や

国の手続きを待つて解体を予定している人たちが多い。

避難先からの移住について

■千葉に避難した私たちの会では千葉に住まいを求めた方は7〜8割いる。

■町田に避難した方々は土地代の関係で茨城に移る方が多い。

移住先での生活について

■この間、メディアでも取り上げられた「いじめ」や嫌がらせの話が出てきている。これは子どもに限った話ではない。

■移住しても近所に知り合いがないので元の避難先の集まりに来られる方もいる。

避難先での交流について

■区域外避難（自主避難者）と東北県人会、地元大学生、心のケアを求める方を集めた市民交流会を開催した。こうした取り組みにより、自主避難者に対する理解が深まった。

■支援者の方々とは泊で福島県の現地視察（総勢45名で地元の方と避難者が半々で参加）を行った。参加者の感想は「これではまだ住めない」との声がほとんど。

■避難先の方々の交流をすることで、避難者の現実を知ってもらえるようにしている。知ってもらうことで、避難者への偏見がなくなればと思っ

ている。
■会では地域の活動に積極的に参加するよう話をしてる。

■地域の方々との共生を目指している。避難者が被災体験を学校で語る等、役割を持つてもらうことで共感を得られるように地域との交流を図っている。
■一方で、「避難者」と呼ばれることがつらいという方もいるのが事実。



「支援交流の集い」の様子

義援金贈呈先の広域避難者当事者団体

都 県	中間支援団体	支 援 先
茨城県	ふうあいねっと	ルピナスの会、すまいるカフェつくば
栃木県	とちぎ暮らし応援会	ふくしまあじさい会
群馬県	ぐんま暮らし応援会	遊ゆう
埼玉県	埼玉県労働者福祉協議会	加須ふれあいセンター、あゆみの会、ここカフェ@川越 ふじみ野市おあがんなんしょ、東日本大震災に咲く会ひまわり
千葉県	ちば市民活動・市民事業サポートクラブ	千葉県内及び柏市内近隣避難者の孤立化防止の会 みんなで楽しむ会、ひまわり柏、さくらの会
東京都	東京災害ボランティアネットワーク	東北の絆サロンFMI会、むさしのスマイル NPO法人とみおか子ども未来ネットワーク コスモス会、足立区新田ふるさと会、みちのくまほろば会
神奈川県	かながわ避難者と共にあゆむ会	どんぐりの会、かながわ東北ふるさと・つなぐ会
山梨県	東日本大震災・山梨県内避難者と支援を結ぶ会	フレンチ・ブルドッグの会

第6回新任支部会長研修会開催！

今後の活動に役立つとの
多くの感想をいただきました。

第6回新任支部会長研修会は
2月2日～3日の日程で、東京
台東区のホテルラングウッドに
おいて、16支部の新任会長の
参加を得て開催されました。

一日目は中央労働金庫塩沢常
務理事のご挨拶、野田副会長よ
り「支部会長の皆さんへ」と題
した講話、高橋事務局長より「友
の会の組織と運営」、井口職員よ
り「友の会の財源と会計」につ
いて説明が行われ、1日目の最



研修風景

後は友の会の顧問である司法書士法
人あおいリーガルアソシエイツ代表
社員である内山誠先生より「認知症
対策・相続対策を踏まえた超高齢化
社会における シニアライフの課題
とその備え」と題した講話がありま
した。

2日目は、友の会が3年間継続支
援を行ってきた宮城県南三陸町仮設
住宅7自治会の1つである若者総合
体育館仮設自治会長阿部一郎さんか
ら「東日本大震災から6年被災地か
らの報告と今後の課題などについ
て」と題して、地震直後の津波で自
宅が流されたこと、家族の安否確認
ができなかったこと、体育館での避
難生活の模様、仮設住宅に移ってか
らの生活、さらに自治会の組織作り
について、ご自身がデジカメに残し
た画像を基に淡々と説明いただきま
した。最後に阿部さんは「みなさん
の善意に支えられて今日に至りまし
た。本当にありがとうございます」と
と話を締めくくりました。

その後、意見交換会を経て研修会
最後は「中央ろうきんにおける生涯
取引と課題」と題して、中央労働金
庫営業統括部橋本正道次長の講話で
終了いたしました。

【主要要望】

■喜寿祝金は本人口座に振り込
まれるが、摘要欄には「中央
ろうきん友の会」としか入力
されない。ありがたみがでる
ようなメッセージをいれられ
ないか。

■会員拡大する方法について本
部から具体的なアドバイスを
お願いしたい。



磯原支部鈴木会長



阿部講師

2016年度東日本大震災義援金 協力先一覧

(2016年1月22日～2017年1月11日)

ご協力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます

横須賀支部	50,000	川口支部	23,365	太田支部	10,000	埼玉地区本部	50,000
南アルプス支部	10,000	狭山支部	48,719	平塚支部	12,132	栃木地区本部	50,000
熊谷支部	15,374	お茶の水支部	10,000	大泉支部	5,144	神奈川地区本部	142,673
新百合丘支部	10,000	高崎支部	30,000	大子支部	13,099	山梨地区本部	20,000
甲府支部	20,356	荒川支部	15,243	千葉地区本部	100,000	個人	700,000
渋川支部	20,000	千葉支部	20,039	茨城地区本部	108,789	(預金利息)	107
中原支部	10,000	星川支部	42,455	東京地区本部	114,298		
本庄支部	9,874	秦野支部	10,000	群馬地区本部	100,000		
大井支部	26,362	春日部支部	3,500				1,801,529

